

希望の鐘

第234号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

文責：校長 佐々木

君はどう生きたいか ～キャリア教育について～

2月後半となりました。学校では、1,2年生は22日実施予定の五次考査に向けて、また1年間のまとめとして、授業に集中し家庭での学習にも力が入っています。(いるはずです。)そして3年生は、私立高校の入試を終え、多くの生徒が3月5日実施予定の県立高校入試に向けて、授業や放課後学習会で実力アップの学習に励んでいます。

3学期に入ってから、全員ではないのですが3年生と面接練習をしています。そこで必ず質問するのが、「将来就きたい職業は何ですか?」。どの生徒からも明確に答えが返ってきます。「看護師になりたい。」「ウェディングプランナーになりたい。」「パティシエになりたい。」「工業系の仕事に就きたい。」……これまで、学校の様々な授業を通して、自分と向き合いながら考えてきたからこそ、自分なりの答えを見つけることができたのでしょう。

キャリア教育という言葉はすっかり世の中(特に学校の世界)に定着してきましたが、「進学」だけでなくその先の「生き方」を考える上で、教育活動の中で大切にしていきたい、一つの視点です。

今年度で11年目を迎えた「コナ中 未来への架け橋講座」は、そのキャリア教育を支える大切な取組の一つです。

今月2日の講座をもって、今年度分はすべて終了となりました。



《マルヨ水産総務部長 佐藤裕一さん》

小学生の時の社会科見学で訪れたことのある、マルヨ水産。お土産にちくわをいただいたことを思い出した生徒がほとんどでした。

総務部長の佐藤さんからは、仕事に誠実に向き合うことと、好きなこと(趣味)をもつことで、人生の幅が広がるということを教えていただきました。ずっと続けていらっしゃるギターでの弾き語りや、地域の雑誌にエッセーとイラストを連載していることなどから、「好き」を貫くことが、人生に彩を添えるということを学びました。



《中ペン塗装店代表取締役 中村知行さん》

創業100年を迎えた老舗の中ペン塗装店。地域でいつも目にする企業の歴史に、多くの生徒が驚きの声を上げていました。

塗装業と一口に言っても、その仕事は大変奥深いこと。日々技術革新が進んでいること、多くのインフラを支える仕事であること、そして、塗料が使われ始めたのは、なんと9000年前であるということ…など、生徒の知的好奇心をくすぐるお話の連続でした。

どのような形であれ、人は世の中で働いて社会に貢献(納税も含む)し、同時に自分自身を育てていく生き物です。学校というシステムから離れても、自分の生き方を模索する小中野中生であってほしいと願っています。

第3回 小中野中学校区 地域学校連携協議会 開催

2月15日(木)18:30から、本校会議室において、地域学校連携協議会が開催されました。



今回の会議は今年度最後となるため、学校での取組や、地域密着型教育コーディネーターから、学校と地域とが関わった様々な活動の報告がありました。



ました。

地域の皆様からは、様々な行事等においてみていただいた児童生徒や学校の様子から、今年度の教育活動等について、よい評価をいただくことができました。

地域学校連携協議会の皆様、各校コーディネーターの皆様、一年間ありがとうございました。

<コミュニティースクールって何?>

すでに新聞報道で御存知の方も多いと思いますが、八戸市では来年度つまり今年の4月から「コミュニティースクール」を導入します。これは、「学校・家庭・地域が一体となって、地域の子供は地域で育てる」ことを目的とした取り組みです。ですから、現在行っている「地域未着型教育」と、大きなところでは変わりません。

これからも、地域の学校としてできることには積極的に関わる学校でありたいと考えております。



2月後半～3月の おもな行事予定》

2月

- 21日(水) 職員会議(5時間授業)
- 22日(木) 1, 2年五次考査
- 26日(月) 生徒委員会
- 27日(火) 生徒朝会
- 28日(水) 学年会議
- 29日(木) 1年生参観日(希望式)

3月

- 1日(金) 2年生参観日(立志式)
- 2日(土) 数学検定
- 5日(火) 青森県立高校入学者選抜検査
- 8日(金) 卒業式予行
※1, 2年は給食有
- 9日(土) 卒業証書授与式
- 11日(月) 八戸市防災の日
本校避難訓練
- 15日(金) 青森県立高校入学者選抜合格発表
- 21日(木) 新入生一日入学
- 22日(金) 3月9日の振休
- 26日(火) 修了式 離任式